

尻別川水系既存ダムの洪水調節機能強化に係る協議の場（第1回）議事録

- 日 時 : 令和2年1月30日（木） 13:00～13:40
- 場 所 : 蘭越町山村開発センター
- 出席者 : 関係者24名 ※関係者: 河川管理者、ダム管理者、関係利水者

■議事内容:

◎議事次第1 開会

【小樽開発建設部次長（道路・河川担当）】

既存ダムの洪水調節機能強化に係る協議の場、この設置・開催にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。本日は大変お忙しいところ多数の御出席いただきまして誠にありがとうございます。皆様には日頃より北海道開発行政の推進にあたりまして、特段の御理解と御協力を頂いておりますことをこの場を借りまして改めて厚く御礼申し上げます。

さて、近年は異常と思われる大雨により水害が全国で頻発しております。特に昨年10月の台風19号、これにつきましては関東・甲信・東北地方をはじめ甚大な被害をもたらした現在も復旧作業が進められているところでございます。こうした近年の水害の激甚化を踏まえ、その対策を検討するため、政府による「既存ダムの洪水調節機能強化に向けた検討会議」が先月の12月に開催されております。この会議は官邸主導の下、内閣総理大臣補佐官を議長とした関係省庁が参加した会議でございます。当検討会議においては全国に数多くある既存ダムを出来る範囲で最大限有効活用して洪水調節機能強化、これを図っていくということが確認されておりました。今年の出水期までに政府全体として具体的な取り組みを進めるといったことになっています。

この取組の内容を定めたものが、本日皆様にお配りしております「既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針」でございます。この基本方針の中では、本取組を進めるために水系毎に河川管理者、ダム管理者、関係利水者からなる協議の場を設け、今年の出水期までの出来るだけ早い時期に治水協定を締結し、関係機関連携の下、ダムの新たな運用を開始するよう明記されております。今年の出水期からの運用ということで、非常に限られた時間での対応となりますので、本取組が関係者間で円滑に進められますようご協力をお願いする次第でございます。

本日は第1回目の協議の場ということでございまして、関係機関相互で大枠の取組内容やスケジュール等を改めて御確認いただければというふうに考えております。以上簡単ではございますけれども、本日の協議の場の設置・開催にあたりましての挨拶とさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。

◎議事次第2 議事及び質疑応答

<議題> ※事務局から資料1～4により説明

- (1) 設置の目的
- (2) 既存ダムの洪水調節機能強化に向けた基本方針
- (3) スケジュール

<質疑応答>

【小樽開発建設部農業開発課】

農林水産大臣所管のダムの担当として発言させていただく。農林水産省としても政府の決定なので、当然これを進めていくというスタンスであり、「基本方針」を踏まえ、関係者からの意見を聞きつつ、理解を得て、ダムの構造やダム管理者の体制、関係土地改良区への影響、水利用の状況等を考慮した運用を検討することが重要と考えている。

スケジュールに示されている対象ダムの構造条件の確認等、対象ダムの優先度等の仕分け、事前放流ガイドラインの内容の確認の中で、個別のダムについて今後細かい部分について調整を図っていくということで良いか。

【事務局】

構造条件確認等の作業については、既に対応がなされているかと思うが、設備の改良の可否などでも優先度が分かれていくかと思うので、各ダムについて検討いただき、その後の仕分けになっていくと思うが、関係機関協議しながら連携して進めていきたいと考えている。

【倶知安町役場建設課】

かんがい用の双葉ダムを管理している立場として発言させていただく。今回の既存ダムの洪水調節機能強化は、昨年の台風19号等の被害状況から考え方としては良いことだと考えている。しかし、私どもが管理しているダムは洪水調節機能を一切持っていないことから、実際の操作においてどのように対応できるか非常に不安がある。実際に局地的豪雨等が発生した場合や予報が出た場合、管理する側としてどのように判断してよいのか経験やノウハウがないことや、スケジュール的に短い時間での対応のため、仮に事前放流等の操作を行うような場合は、その判断は河川管理者側で行うなど、フォローや助言、ご指導をいただければと思う。

また、事前放流の実施によるかんがい用水の不足が発生した場合の対応や、損害補填制度が明確になるとダムの管理費を負担している農家への説明や理解が得やすいと考える。そのため、事前放流によって営農に影響を与えた場合に対する等の制度面のご検討もお願いしたい。

【事務局】

非常に短いスケジュールの中で進めていかなければならない取組であり、現在は不明な点が多いが、今後示される各種情報を共有し、連携しながら進めていきたいと考えている。

◎議事次第3 その他 ※事務局より事務連絡

◎議事次第4 閉会